

©2010年12月4-5日@三重県京都市
text&photo:Kazuhide UENO(上野和秀)

アットホームな雰囲気の本格的ヒストリックカー・ラリー

五感を刺激する極上の『車旅』を提唱するヒストリックカーミーティングの第2回目が、風光明媚な伊勢・志摩を舞台に12月4-5日に行われた。ヒストリックカー・ラリーのスペシャリストである天野氏が立ち上げたこのイベント、競技性だけではなく愛するクルマとの対話を楽しみ、同じ趣味を持つ仲間たちとの触れ合いを重視している点が特徴である。

第2回となる今回は、1日目はルートイン久居をスタートしたのち、朝熊山、石鏡漁港、鳥羽展望台を経てホテル近鉄アクアヴィア伊勢志摩がフィニッシュ。2日目はホテルをスタート後すぐに3連続のSSをこなした後、御座白浜の海女小屋磯人、志摩スポーツ公園で2つのSSをこなし、途中チェックポイントの志摩スペイン村を訪れ、五感の宿慶泉でランチを楽しんだ後、ちよんまげワールド伊勢で4連続のSSに挑んでフィニッシュ、という約200km余りのプログラムが組まれた。

フレンドリーでありながら競技も楽しめるラリーだけに、地元東海地方はもとより、関東、関西からのエントリーが多いのが特徴だ。車種的にもバラエティに富んでおり、新旧の英車からイタリア、フランス、ドイツ、日本車が集った。

ヒストリックカー・ラリーのスペシャリストがプランニングしたラリーだけに、競技部分は凝ったもので、なかでも最終ステージは曲がりくねったコースで4連続SSを行うもので、ドライバーとコドライバーの息が合っていないとクリアできない難セクションが設けられていた。

フィニッシュ後の表彰式もアットホームな雰囲気で、いつまでも思い出に残るような演出がなされ、参加した誰もが成績にかかわらず楽しめるイベントとされていたのが印象的だった。ヒストリックカー・ラリーに参加しようと考えている方にもお勧めのイベントだ。



今回のヒストリックカーミーティングには、チシタリア204が京都からやってきた。



もう1台のピッコラ・バルケッタはモレティ750。モレティ製のピアルペロ・ユニットを搭載する。



愛犬のキャバリアと共に名古屋から参加したマートラ・ジェット。好い雰囲気に仕上がっていた。



レストポイントになった御座白浜の海女小屋磯人で海女さんのお見送りを受けながら出発するトヨタ2000GT。



ラリーのしんがり役を担当したシトロエン2CV。大きくロールさせてアタックし、ギャラリーの喝采を受けていた。



4連続SSの最終ラインをいまさに超えようする京都から参加したシックなカラーリングのロータス・エリート。



スタートポイントは久居ルートインに設けられた。ゼッケン1を付けたMG-TDがゴールを目指してスタートを切った。

■問い合わせ先
ヒストリックカーミーティング実行委員会
TEL:0568-48-0066 <http://historiccarmeeting.com/>

このヒストリックカーミーティングは車種のバラエティに富んでいることが特徴。どんなヒストリックカーでも楽しめる。



スペイン村のチェックポイントでは、フラメンコ姿のスペインッシュ・ダンサーがお出迎え。フルビオも思わずニコリしているよう。



ナイトパーティーでは1日目の成績発表が行われ、各クラス上位3チームに記念品がプレゼントされた。